

事業計画名 LP ガス容器のくず化高度処理事業の創設

中越産業株式会社



LP ガス容器のくず化高度処理事業で 新たなリサイクル体制を構築

本事業における成果

- 廃棄容器の高度処理が可能に
- 検査から廃棄処理まで一貫した体制を構築
- 県内外の同業他社の協力を獲得

会社データ

- 創業 1949年
- 代表 樋口 博彦
- 所在地 南砺市川除新110
(処理工場・LPガス
充填工場)
南砺市福野775(本社)
TEL:0763-22-4511
FAX:0763-22-6925
(本社)
- TEL/FAX
- U R L <http://www.chusan.net/>
- 資本金 6,700万円
- 従業員数 30名
- 取扱製品 LPガス販売、灯油
販売、管工事、土
木工事、冷暖房・
空調・住宅設備機
器の設計・施工、上
下水道工事設計施
工、住宅新築・リ
フォーム、損害保険



本社

1 会社の概要

「中越石炭株式会社」として1949年に創業、1962年からLPガス販売を開始した。エネルギー需要の変遷、ニーズの多様化に伴い、1971年には「中越産業株式会社」へと社名変更。LPガス・石油類の販売を中心とした「エネルギーの安定供給」と、住宅設備・管工事・新築・リフォームを中心とした「快適な住環境のトータル提案」を2本の柱とし、地域貢献と地球環境・人の暮らしに密接に関係した事業を幅広く展開している。

LPガス取り扱いに関しては、LPガス充填工場を持ち、タンク2基や容器再検査場などの設備を保有している。1999年に、県内第一号の「液化石油ガス認定販売事業者」となり、現在では「ゴールド保安認定事業者」となる。これは国の保安基準で、高度な保安機器を70%以上で設置し、管理を厳重・正確に行っているLPガ

ス事業者だけに認められるものであり、LPガスを取り扱う県内業界トップクラスの技術力を持つ企業として、安全で安定したエネルギーの活用をサポートしている。

2 補助金事業の内容

LPガス容器（プロパンボンベ）は製造から5年後（内容積によっては6年後）に再検査が義務付けられ、その後5年又は6年ごとに再検査が必要である。さらに製造後20年を経過すると2年ごとの再検査が必要となり、一般的には20年の耐用年数で鉄くずとしてリサイクルされている。LPガス容器の鉄は純度が高く単体で特級に分類されるため、雑鉄として混合処理するのではなく、（一社）日本鉄源協会検収統一規格に合う高度処理でリサイクル資源としての価値を上げる。容器検査から廃棄処理まで、一貫性を持ったLPG販売事業者を目指して、廃棄容器処理事業を立ち上げることにした。



圧縮されたLPガス容器



圧縮された容器は倉庫で保管。製鉄会社へ持ち込まれ、リサイクルされる



補助金で導入されたLP G 堅型圧縮式減容プレス機

高度処理事業の構想は、当社社長が長年温めていたものであるが、2012年12月に充填工場敷地横に広大な土地を取得できたことで動き出した。2013年11月、高度処理工場と保管専用庫の建設に入り、2014年3月に完成。そして今回の補助金事業で2015年2月にLPG堅型圧縮式減容プレス機を導入、7月から稼働させた。

3 補助金事業の成果

設備導入前は、ボンベの側面をプレスして板状に薄くしてから3等分に切断してリサイクルにまわしていたが、今回導入した圧縮式減容プレス機は、上方向から一気にプレスすることで、処理工程数を1回に削減でき、処理能力が向上した。プレスされた容器は保管庫にス



今回の事業のために建設された処理工場と保管専用ヤード

トックされ、約100トン単位で製鉄会社へ持ち込まれ、溶解炉で高品質の鉄素材としてリサイクルされる。製鉄会社への持ち込みは、ある程度の量を確保しなくてはならないため、当社保有数だけの回収量では足りない。今回の高度処理事業化に関し、県内外の同業他社から趣旨に賛同いただくことができ、現在、富山県と石川県の大手卸売・取引先6社、自社の協力販売店10社の回収を行っている。多くの同業他社から廃棄容器回収の環境を構築できた意義は大きい。

4 今後の展望

県内では、1年間に廃棄処理されるLPガス容器は、推定約1万8000～2万本といわれ、取引のある隣県の石川県も含めると4万

～5万本の規模があると推定されている。まずは年間1万本の処理を目指したい。またLPガス容器（ボンベ）処理にとどまらず、バルク容器や大型のバルク貯槽の回収と切断解体処理も開始しており、こちらも引き取り数を伸ばし、本格展開していきたい。

課題は、鉄くずの相場は価格変動に左右されやすいことにあり、現在、事業を立ち上げたところに比べて、引き取り価格が半値となっている現実がある。しかし、「使ったものは高度処理で資源としてリサイクルし、最終処理までをきちんと果たすのが責務」との信念を貫いて、同業他社の協力を得て本格稼働を目指す。今後も、環境保全や地球資源の有効活用を通して、地域貢献していきたい。



処理工場に隣接するLPガス充填工場